



IX Knowledge Inc.

2025年3月期第2四半期（中間期） 連結決算補足説明資料

2024年11月11日

アイエクス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



2025年3月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

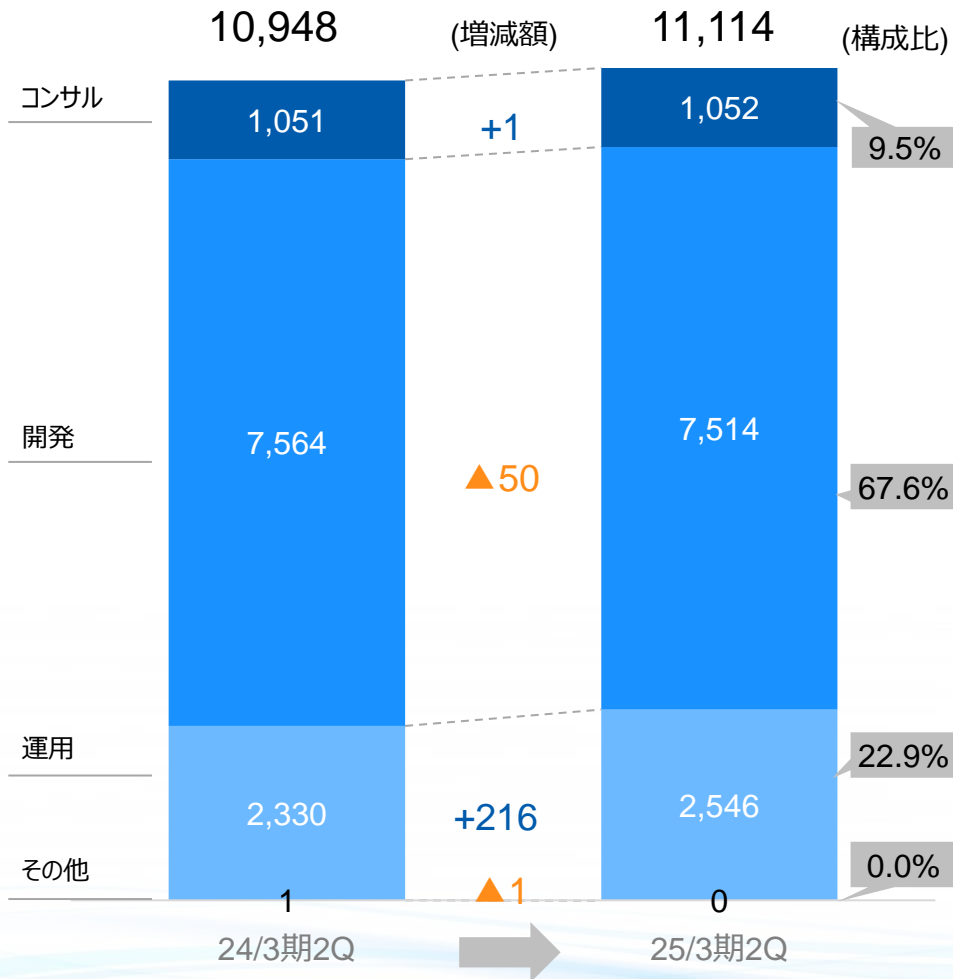
	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
売上高	11,114	10,948	1.5%
売上原価	8,824	8,712	1.3%
売上総利益	2,290	2,236	2.4%
売上総利益率	20.6%	20.4%	—
販管費	1,354	1,363	▲0.7%
営業利益	935	872	7.2%
経常利益	980	918	6.8%
親会社株主に帰属 する中間純利益	667	615	8.5%

※2024年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、比較情報における前中間連結会計期間の各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

品目別売上構成

品目別

(単位：百万円)

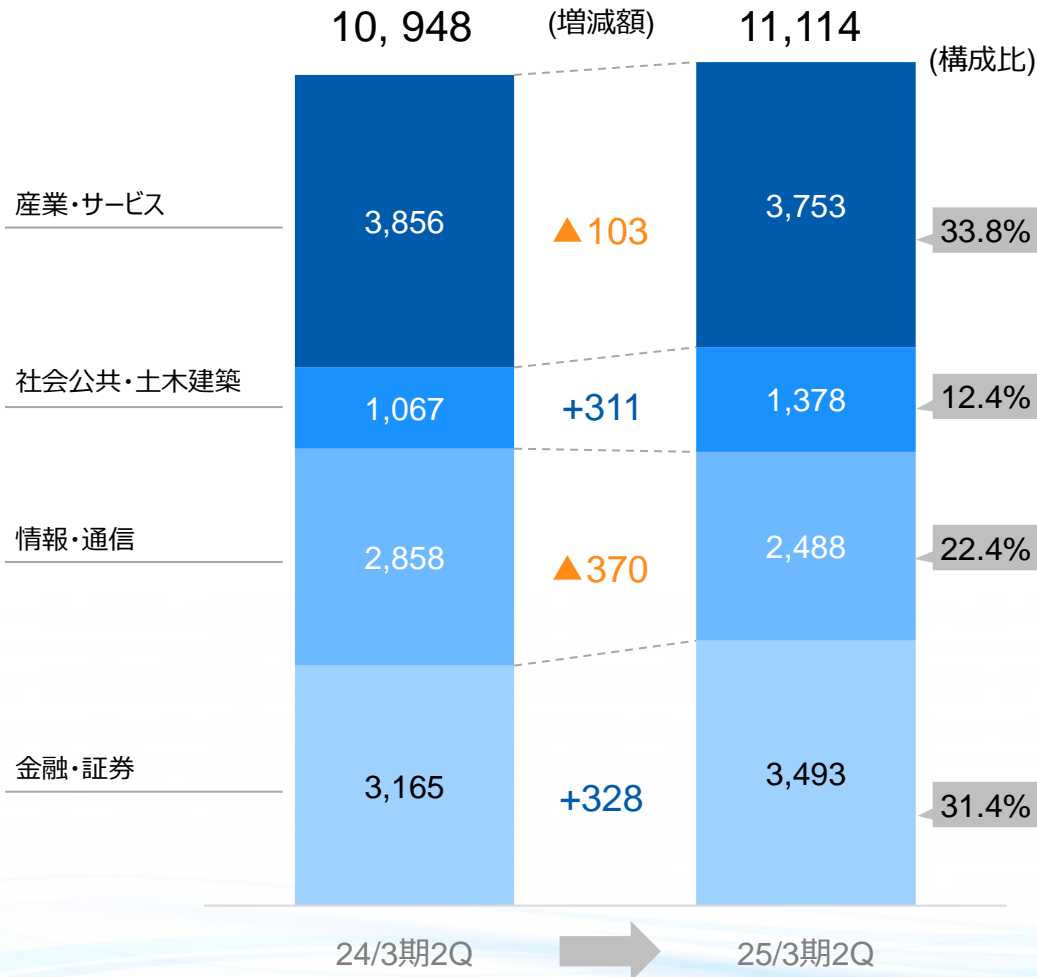


- コンサル
食品商社向け案件が縮小するも、大手ベンダー経由の情報サービス企業向けの案件や社会公共分野の案件が拡大し横ばい
- 開発
総合物流企業や通信事業者向けの案件が縮小し減少
- 運用
社会公共分野の基盤・環境構築の案件が拡大し増加

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別

(単位：百万円)

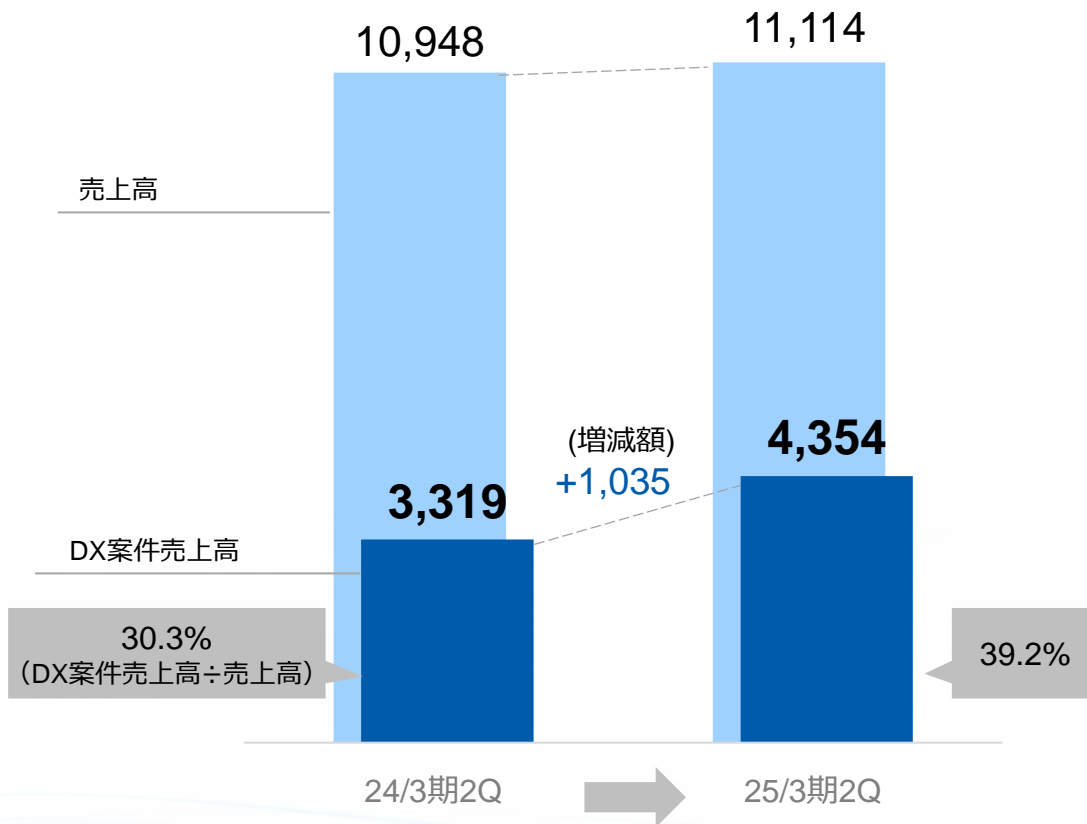


- 産業・サービス
大手ベンダー、総合物流企業向けシステム開発案件が縮小し減少
- 社会公共・土木建築
大手ベンダー経由の社会公共向け運用案件が拡大し増加
- 情報・通信
大手通信事業者向けシステム開発が縮小し減少
- 金融・証券
大手ベンダー経由の金融機関、保険会社向けシステム開発案件が拡大し増加

DX案件売上高

- ・成長が見込まれるクラウドを中心としたDX化への対応力強化を推進
- ・引き合いの多いクラウドネイティブ人材の育成に取り組む

売上高におけるDX案件売上高 (単位：百万円)



- DX化進展に伴いクラウド利用が拡大
- 従来型の開発手法からアジャイル開発へシフト、アジャイル開発案件が拡大



売上高全体に占めるDX案件売上高は30.3%から39.2%となり8.9ポイント増加

※DX案件は、アジャイル開発等のデジタル化を牽引する要素技術、クラウド構築等のDX化のベーシック開発、AIやデータ分析等のDX化のハンドリング開発の3つの切り口で抽出しております。

2025年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期 予想	2025年3月期 第2四半期実績	進捗率	(参考) 2024年3月期 実績
売上高	22,231	11,114	50.0%	21,748
営業利益	1,752	935	53.4%	1,655
経常利益	1,817	980	53.9%	1,739
親会社株主に帰属 する 当期純利益	1,216	667	54.9%	1,275

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

「社会とITの未来をともにつなぐ」

“Connecting people one world”



IX Knowledge Inc.

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>